

産業労働常任委員会資料

令和8年9月16日

産業人材の育成・確保の推進について

産業労働部
能力開発課

目次

◇兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進	・・・	3
◇令和8年度 産業人材の育成・確保の推進 施策体系	・・・	3
I 求職者に対する能力開発	・・・	4
1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発	・・・	5
2 民間教育機関等に委託して行う能力開発	・・・	14
II 在職者に対する能力開発	・・・	16
1 公共職業能力開発施設で行う企業在職者等の技能向上	・・・	16
2 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援	・・・	18
III 技能の振興と職業観の醸成	・・・	19
1 技能の向上	・・・	19
2 ものづくり体験を通じた若者等への職業観の醸成	・・・	24
IV 多様な就労の促進	・・・	28
1 外国人の雇用・就職・定着の促進	・・・	28
2 障害者の雇用・就業・定着の促進	・・・	31
(参考) 第12次兵庫県職業能力開発計画の策定	・・・	34



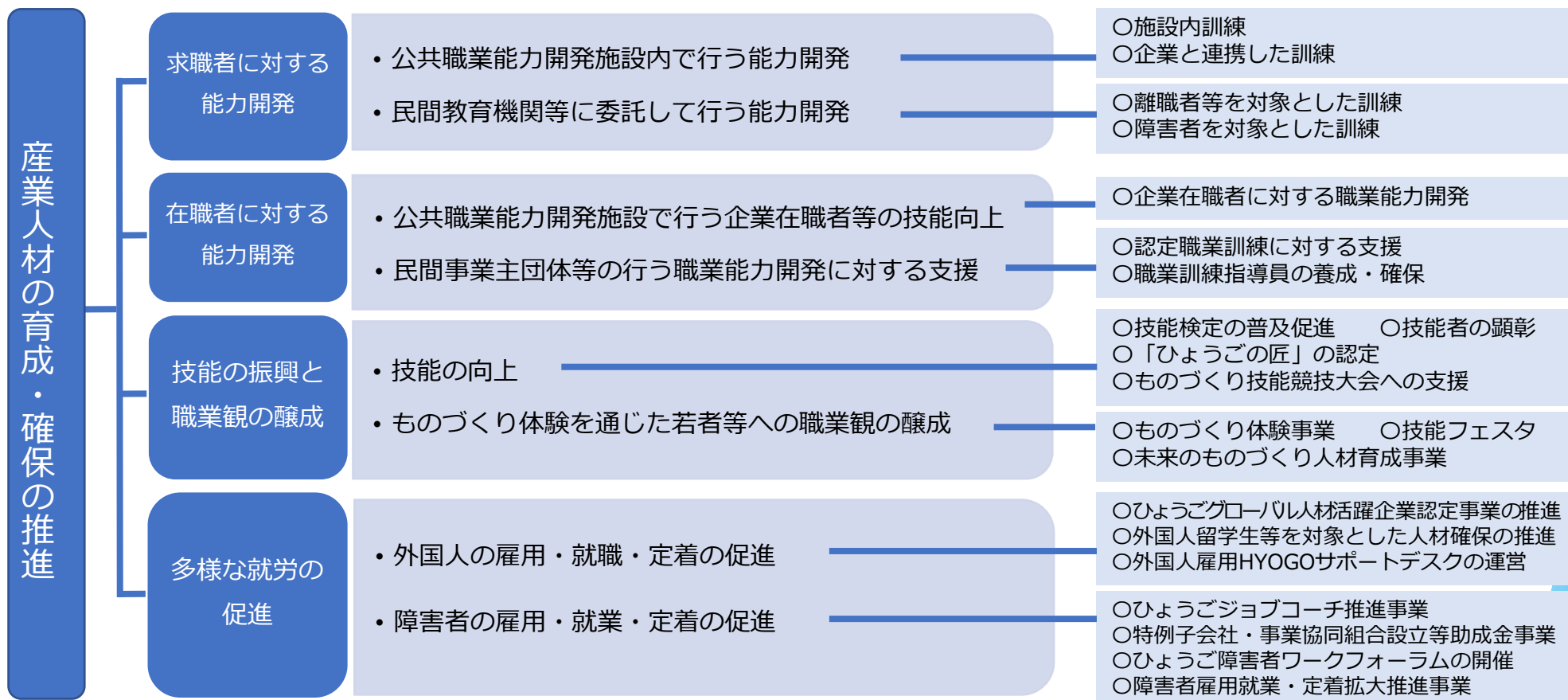
◇ 兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進

職業能力開発促進法の規定により、国の職業能力開発基本計画に基づき策定した「第11次兵庫県職業能力開発計画」（令和3年度～令和7年度）に定めた基本的方向に沿って施策を推進。現在「第12次兵庫県職業能力開発計画」（令和8年度～令和12年度）を策定中。【P34参照】

〈第11次計画における職業能力開発施策の基本的方向〉

- 1 ポストコロナ社会を支える求人・求職者ニーズへの対応
- 2 長期化する職業人生におけるキャリア形成の支援
- 3 全員活躍社会の実現に向けた多様な働き方の推進
- 4 技能者の社会的地位の向上や技能継承への支援など技能振興の推進
- 5 公共職業能力開発施設における取組の充実

◇ 令和8年度 産業人材の育成・確保の推進 施策体系

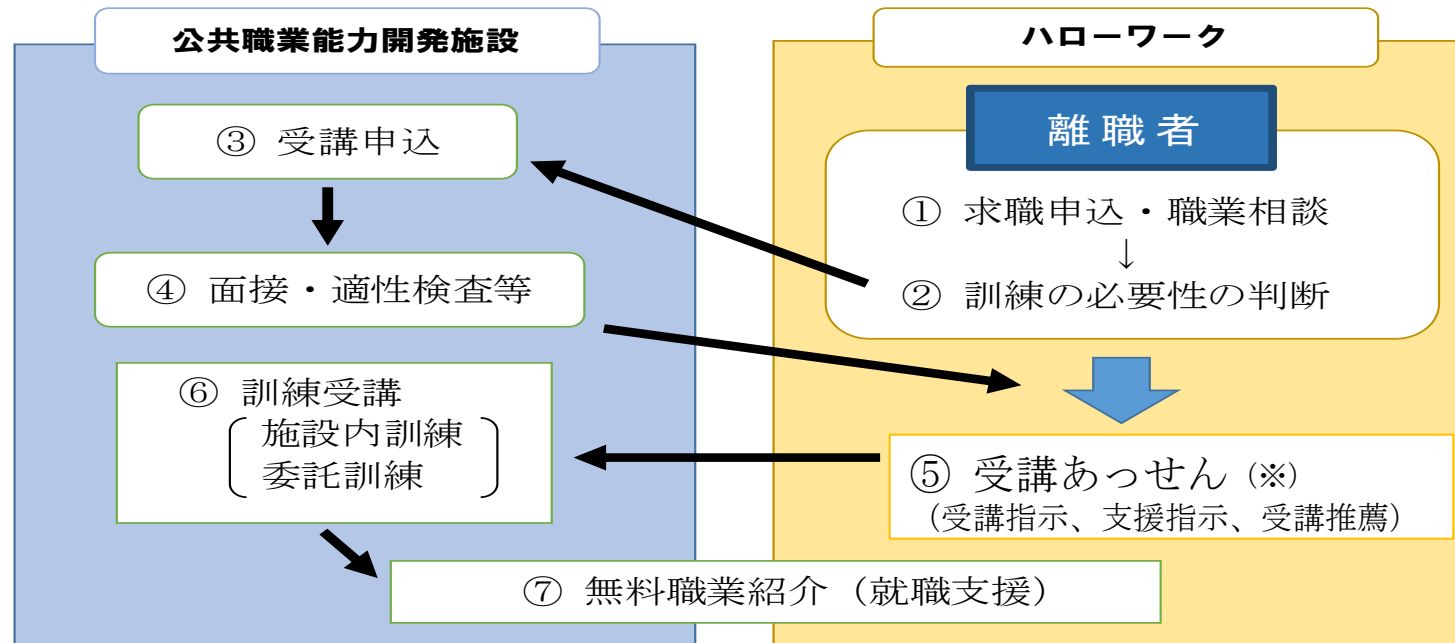


I 求職者に対する能力開発

- ・職業訓練（ハローワーク）とは、希望する職業に就くために必要なスキル・知識を習得するための公的制度。
- ・求職者の就職支援のため、公共職業能力開発施設における「施設内訓練」及び民間教育機関等を活用した「委託訓練」を実施。
- ・障害者を対象とした訓練では、障害特性やニーズにきめ細かに配慮して実施。

公共職業能力開発施設での職業訓練の受講の流れ

ハローワーク(公共職業安定所)の求職者のうち、就職のために訓練受講が必要であると判断された者が、ハローワークから受講あっせん(※)を受け訓練を受講。(一般校の場合、新規学卒者は公共職業能力開発施設へ直接申込)



※ 受講あっせんとは…

受講指示：雇用保険の基本手当（いわゆる失業給付）を受給中の方が公共職業訓練を受講する場合に、訓練修了まで延長して失業給付を受けられるもの

支援指示：雇用保険の基本手当を受給できない方が公共職業訓練を受講する場合に、職業訓練受講給付金（手当月10万円、通所手当、寄宿手当）を受けられるもの

受講推薦：上記の要件に当てはまらないが、受講することが本人の就職において有利になると思われる場合に職業訓練を受講できるもの

1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発

- 県では、職業能力開発促進法に基づき、公共職業能力開発施設5校を拠点として、雇用のセーフテネットとしての職業訓練を実施。
- それぞれの地域における求人・求職ニーズに合わせた職業能力の開発を推進。

● ものづくり大学校（姫路市）

コース名	定員	対象	入学月	期間
溶接コース	15人	18歳以上の求職者※1	4月	1年
塗装コース	15人	18歳以上の求職者※1	4月	1年
機械製図・工作(デュアル)コース	15人	概ね55歳未満の求職者	4月	1年
住宅設備コース	15人	18歳以上の求職者	4月	1年
建築コース	15人	18歳以上の求職者	4月	1年
CADコース	20人	18歳以上の求職者	4,10月	6カ月
産業技術資格コース	15人	18歳以上の求職者	4,10月	6カ月

● 神戸高等技術専門学院（神戸市西区）

コース名	定員	対象	入学月	期間
インテリアリフォームコース	15人	18歳以上	4月	1年
CAD / CAM 加工コース	15人	18歳以上	4月	1年
ものづくりオフィスワークコース	20人	18歳以上※2	4月	1年
電気制御コース	15人	18歳以上	4月	1年
印刷総合技術コース	15人	18歳以上	4月	1年
給食調理コース	20人	18歳以上※3	4,10月	6カ月

※1 18歳未満の求職者も一部応募可能。 ※2 新規高卒者を除く、義務教育課程までの子育て中の方を優先。 ※3 新規高卒者を除く

● 但馬技術大学校（豊岡市）

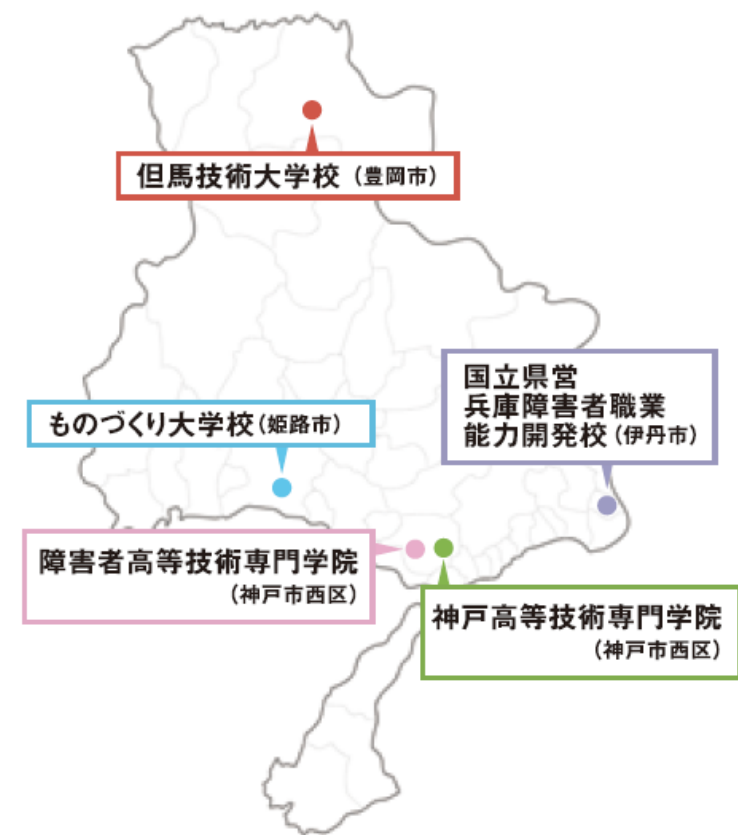
コース名	定員	対象	入学月	期間
建築工学科	20人	高卒以上	4月	2年
機械製造学科	20人	18歳以上	4月	1年
自動車工学科	20人	高卒以上	4月	2年

● 障害者高等技術専門学院（神戸市西区）

コース名	定員	対象	入学月	期間
ビジネス事務科	10人	身体障害者等	4月	1年
総合実務科	15人	知的障害者	4月	1年
Jobサポート科	5人	精神障害者	4,10月	6カ月
キャリアチャレンジ科	7人	発達障害者	4,10月	6カ月

● 国立県営兵庫障害者職業能力開発校（伊丹市）

コース名	定員	対象	入学月	期間
OA事務科	20人	身体障害者等	4月	1年
オフィスワークCAD科	15人	身体障害者等	4月	1年
総合実務科	15人	知的障害者	4月	1年
ビジネス実務科	5人	精神障害者	4,10月	6カ月
キャリア実務科	15人	発達障害者	4月	1年



(1) 施設内訓練

【令和8年度予算 588,856千円】

- ・大規模な設備や専門的な指導体制のもと、地域の産業ニーズに応じて、民間教育機関等では実施困難な機械加工等ものづくり分野や、きめ細かな対応を必要とする障害者対象のコースを施設内訓練にて実施。

- ・入校率は人手不足により雇用環境が良好なことに加え、近年のものづくり分野離れや障害者法定雇用率上昇による企業での早期雇用が活発化した影響のため減少傾向。特に但馬技術大学校では、地域の人口減少、大学進学率の上昇等が入校率の低迷の要因となっている。
- ・一方で、就職率は例年80%台後半で推移しており、全国平均（一般82.1%、障害70.9%）より高い就職率を維持している。

【実施状況】

令和8年7月末現在（単位：人）

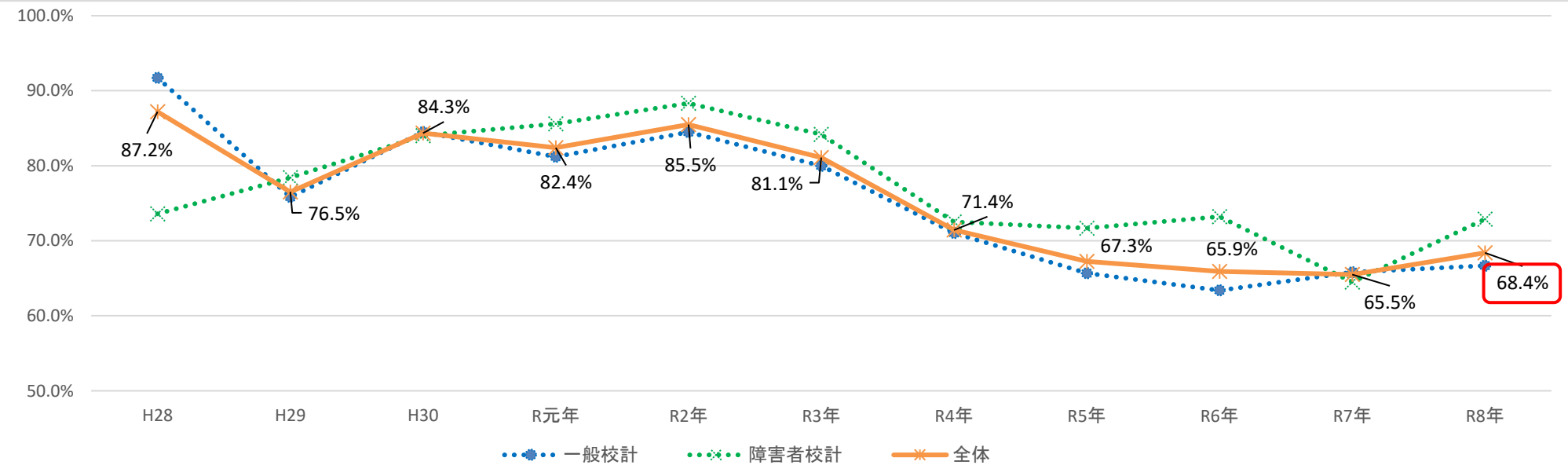
区分	募集定員			入校者			修了者①		就職者②				就職率 (②/(①+③))	
	R6	R7	R8	R6	R7	R8	R6	R7	R6	就職 中退 ③	R7	就職 中退 ③	R6	R7
ものづくり大学校	145	145	110	96	102	74	85	92	86	7	88	6	93.5%	90.7% ※2
但馬技術大学校	60	60	60	27	17	29	24	17	26	2	17	—	100%	100.0%
神戸高等技術 専門学院	120	120	100	83	95	77	66	77	61	5	70	6	85.9%	84.3%
小計（一般校）	325	325	270	206	214	180	175	186	173	14	175	12	91.5%	88.8%
障害者 高等技術専門学院	37 ※1	49	37	21	20	23	14	16	17	4	13	2	94.4%	72.2%
兵庫障害者 職業能力開発校	75	75	70	61	60	55	47	40	45	9	48	15	80.4%	87.3%
小計（障害者校）	112	124	107	82	80	78	61	56	62	13	61	17	83.8%	83.6%
合計	437	449	377	288	294	258	236	242	235	27	236	29	89.4%	87.4%

※1 R6障害者高等技術専門学院では、新規開設コースを10月開講とした

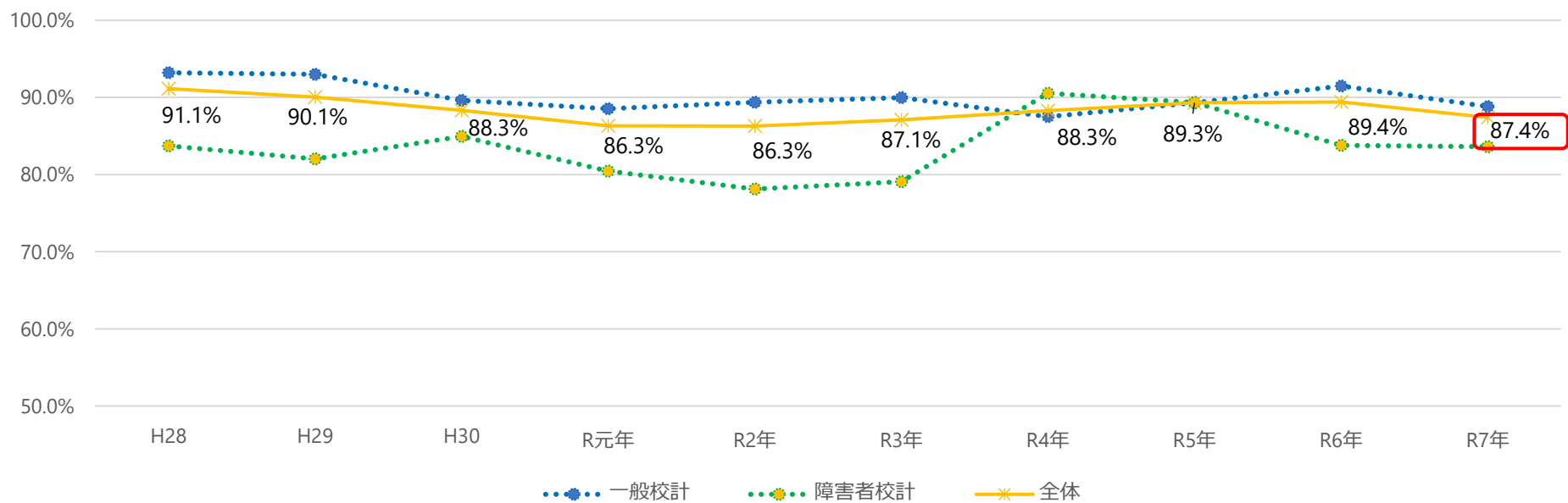
※2 内部進学者1名を減算して算定

【入校率・就職率の推移】

入校率 (H28～R8)



就職率 (H28～R7)



参考 各校の状況【ものづくり大学校】

- ・ものづくり人材育成の拠点として整備された、県内で最も新しい職業能力開発施設。
- ・住宅系、金属系を中心とする幅広い実践的なものづくりのスキル習得を目指す。

・「機械製図・工作（デュアル）コース（R6新設）」では、ものづくり大学校での訓練に企業実習を組み合わせ、より実践的な技能の習得を目指している。

<コース内訳> 令和7年度実績

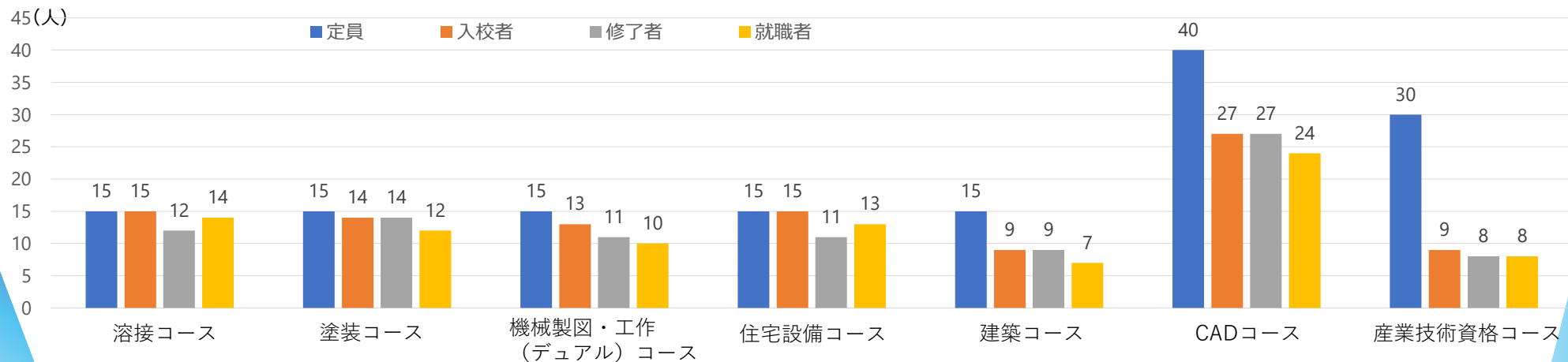
コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
溶接コース	15	15	100.0%	12	14	2	100.0%
塗装コース	15	14	93.3%	14	12	—	92.3%※
機械製図・工作(デュアル)コース	15	13	86.7%	11	10	1	83.3%
住宅設備コース	15	15	100.0%	11	13	3	92.9%
建築コース	15	9	60.0%	9	7	—	77.8%
CADコース(4月、10月開講)	40	27	67.5%	27	24	—	88.9%
産業技術資格コース(4月、10月開講)	30	9	30.0%	8	8	—	100.0%
合計	145	102	70.3%	92	88	6	90.7%※



自動車塗装
(塗装コース)

※内部進学1名を減算して算定。

令和8年度入校率 67.3%



参考 各校の状況【但馬技術大学校】

- ・ 2年課程の県内唯一の自動車工学科をはじめ、建築系及び1年課程の機械系の訓練で、高度な知識と技術の習得を目指す。
- ・ 近年、入校率が低迷している。地域の人口減少や若年層の進学志向の高まりが背景にあると考えられる。

＜コース内訳＞ 令和7年度実績

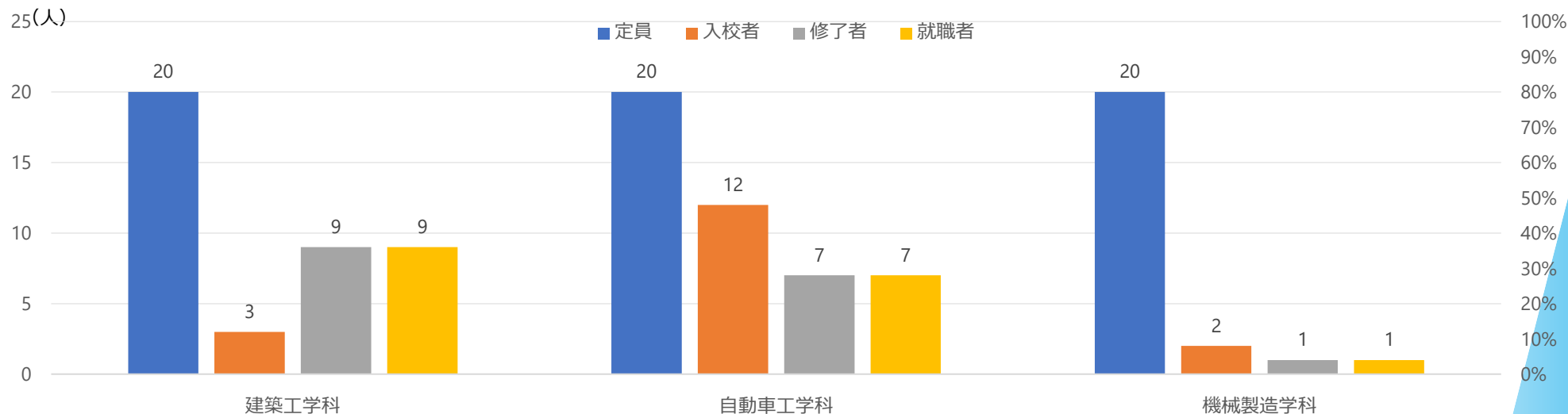
コース名		定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
建築工学科	1年生	20	3	15.0%	—	—	—	—
	2年生	—	[9]	—	9	9	—	100.0%
自動車工学科	1年生	20	12	60.0%	—	—	—	—
	2年生	—	[7]	—	7	7	—	100.0%
機械製造学科	1年生	20	2	10.0%	1	1	—	100.0%
合計		60	17	28.3%	17	17	—	100.0%



測量実習（建築工学科）

令和8年度入校率 48.3%

※〔 〕書きは、前年度からの繰越者を記載。



参考 各校の状況【神戸高等技術専門学院】

- ・多彩な職種で求人の多い大都市での立地に相応しい高度な訓練を実施。
- ・住宅、電気、機械、印刷、事務など幅広い訓練コースに加え、西日本で唯一となる給食調理コースを設置。
- ・「ものづくりオフィスワークコース（R6新設）」は、子育て中の方が受講しやすい訓練時間を設定しており、ものづくり産業への就職を目指す子育て中の女性から人気が高い。
- ・「CAD/CAM」系「電気制御」系の入校率は低いですが、魅力的なものづくり系コースであるため、入校促進に向けた広報活動等をより強化していく。

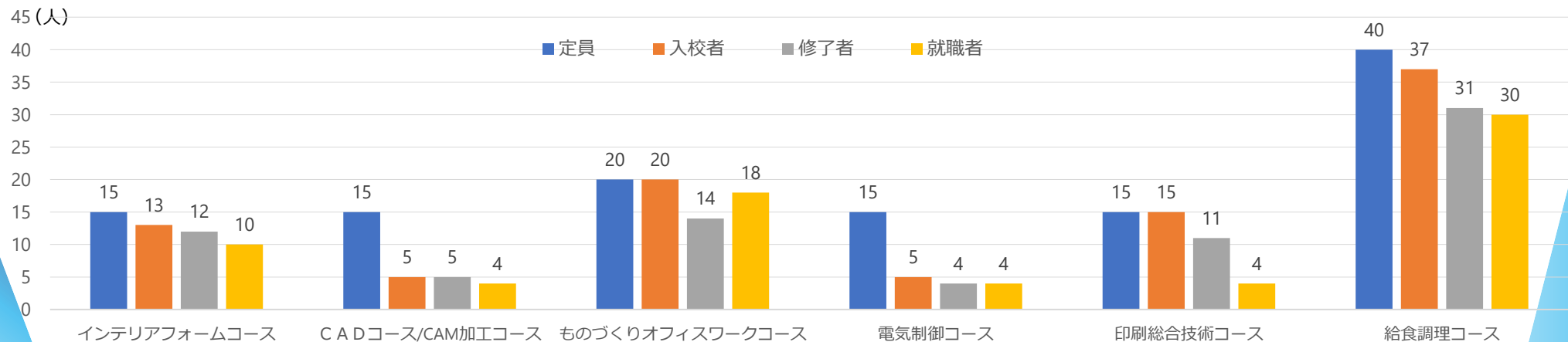
＜コース内訳＞ 令和7年度実績

コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
インテリアリフォームコース	15	13	86.7%	12	10	—	83.3%
CADコース/CAM加工コース	15	5	33.3%	5	4	—	80.0%
ものづくりオフィスワークコース	20	20	100.0%	14	18	4	100.0%
電気制御コース	15	5	33.3%	4	4	—	100.0%
印刷総合技術コース	15	15	100.0%	11	4	1	33.3%
給食調理コース（4月、10月開講）	40	37	92.5%	31	30	1	93.8%
合計	120	95	79.2%	77	70	6	84.3%

令和8年度入校率 77.0%



内装施工実習
(インテリアリフォームコース)

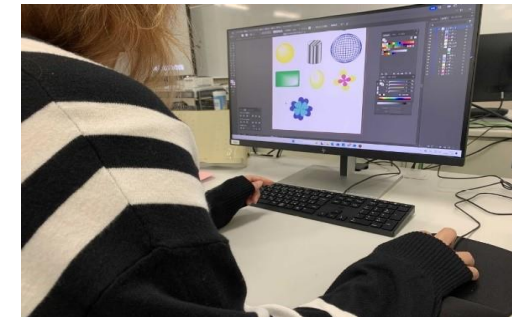


参考 各校の状況【障害者高等技術専門学院】

- ・ きめ細かな指導による少人数訓練により、就職に直結した人材を育成。
 - ・ 障害者に優しい平屋建てで、看護師や臨床心理士による相談体制も整備。
 - ・ 令和6年度から訓練コースを見直し、新たに精神障害者、発達障害者を対象としたコースを新設。
- ・ 障害者法定雇用率の上昇により、職業訓練を経ずに就職するケースの増加等による影響で、入校率が低下している。

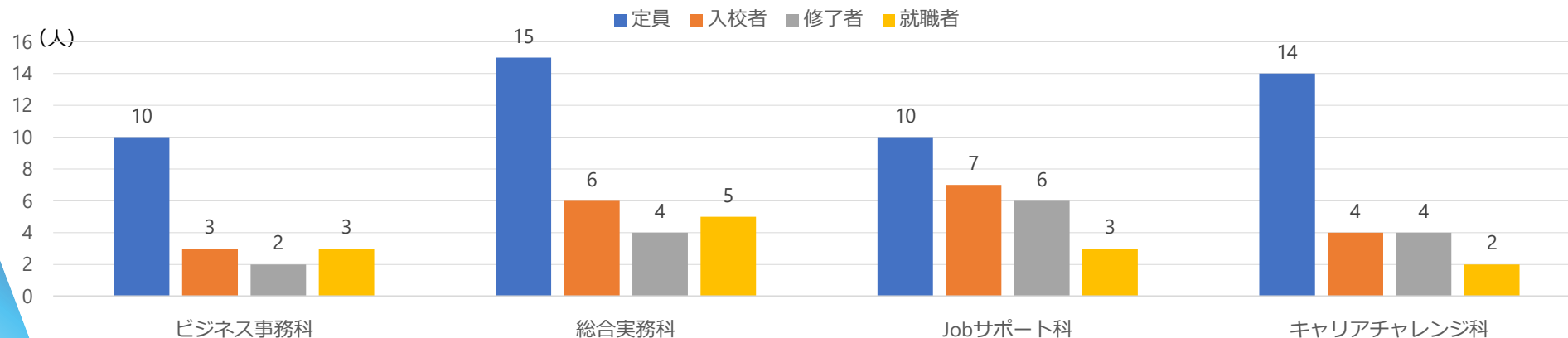
<コース内訳> 令和7年度実績

コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
ビジネス事務科【身体等】	10	3	30.0%	2	3	1	100.0%
総合実務科【知的】	15	6	40.0%	4	5	1	100.0%
Jobサポート科【精神】 (4月、10月開講)	10	7	70.0%	6	3	—	50.0%
キャリアチャレンジ科【発達】 (4月、10月開講)	14	4	28.6%	4	2	—	50.0%
合計	49	20	40.8%	16	13	2	72.2%



イラストレーター実習
(Jobサポート科)

令和8年度入校率 62.2%



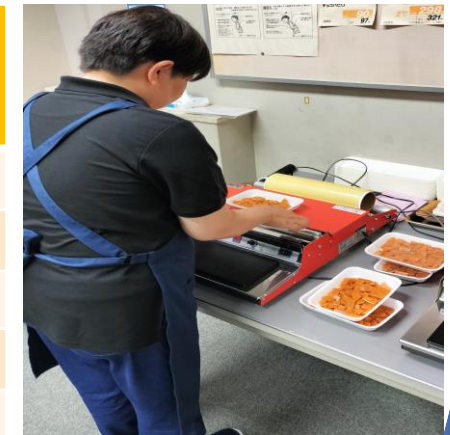
参考 各校の状況【国立県営兵庫障害者職業能力開発校】

- ・障害特性や個々の適性に配慮した職業訓練を提供する国立県営校。
- ・就職相談、生活相談等も充実しており、訓練生のスキルアップや将来を見据えた多角的な支援を実施。
- ・事務補助や販売職・介護職など幅広い職種に対応した実務スキルが習得できる実務系3コースは人気があり、例年、高い入校率を維持している。
- ・障害者法定雇用率の上昇により、他の障害種別に比べて身体障害者は比較的就職しやすい傾向があるため、対象の2コースは入校率が低い。

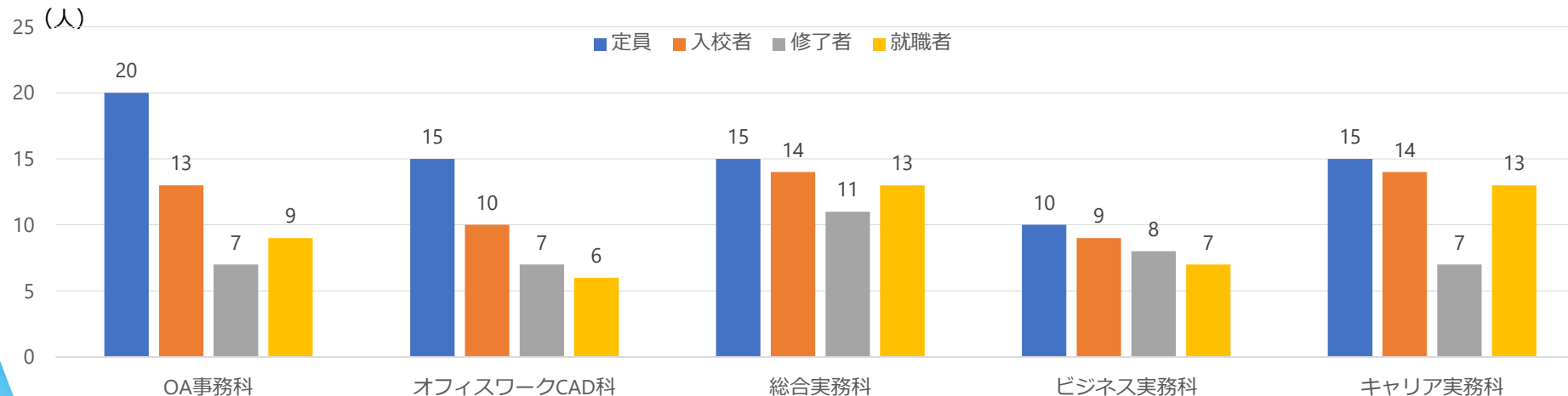
<コース内訳> 令和7年度実績

コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/ (③+⑤))
OA事務科【身体等】	20	13	65.0%	7	9	5	75.0%
オフィスワークCAD科【身体等】	15	10	66.7%	7	6	2	66.7%
総合実務科【知的】	15	14	93.3%	11	13	2	100.0%
ビジネス実務科【精神】（4月、10月開講）	10	9	90.0%	8	7	—	87.5%
キャリア実務科【発達】	15	14	93.3%	7	13	6	100.0%
合計	75	60	80.0%	40	48	15	87.3%

令和8年度入校率 78.6%



販売管理実習
(ビジネス実務科)



(2) 企業と連携した訓練

公共職業能力開発施設内の訓練カリキュラムに、1週間程度のインターンシップを導入。

実際の現場で、熟練技能者の指導による実践力の向上を図るとともに、就職におけるミスマッチを防止。

【実施状況】

施設名	科目名	R6年度	R7年度
		実人数（受入企業数）	実人数（受入企業数）
ものづくり大学校	塗装コース		3人（2社）
	住宅設備コース	1人（1社）	
	建築コース （～R5：木造建築コース）	20人（18社）	18人（16社）
但馬技術大学校	建築工学科	9人（9社）	12人（10社）
	機械製造学科 （～R5：機械工学科）	8人（7社）	1人（1社）
神戸高等技術専門学院	CAD/CAM加工コース	8人（6社）	6人（4社）
	給食調理コース	45人（14社）	67人（9社）
障害者高等技術専門学院	ビジネス事務科	3人（3社）	2人（2社）
	総合実務科	9人（7社）	5人（7社）
	キャリアチャレンジ科	1人（1社）	1人（1社）
兵庫障害者職業能力開発校	OA事務科	1人（1社）	5人（3社）
	オフィスワークCAD科 （～R5：インテリアCAD科）	3人（3社）	1人（1社）
	総合実務科	24人（18社）	38人（19社）
	ビジネス実務科	0人（0社）	5人（5社）
	キャリア実務科	22人（18社）	18人（14社）
合計		154人（106社）	182人（94社）

2 民間教育機関等に委託して行う能力開発

- ・求職者等の多様なニーズに効果的に対応するため、民間教育機関等を活用し、様々な分野における職業訓練を実施。
- ・プログラミングやWEBデザイン等のデジタル分野、PC基礎・経理事務など求職者ニーズの高い分野、人手不足が著しい介護、福祉分野や国家資格等の取得を目指した訓練を実施。

(1) 離職者等を対象とした訓練

【令和8年度予算 1,577,836千円】

3つのコース区分により実施。

ア 知識習得コース：就職に必要な知識、技能習得を目指した講座（PC基礎、事務分野、簿記等）

イ 企業実習付きコース：民間での実習を活用した訓練講座（Web制作、プログラミング、靴製作等）

ウ 長期人材育成コース：国家資格等の取得を目指す最長2年間の長期講座（保育士、介護福祉士、栄養士等）

【実施状況】

令和8年7月末現在（単位：人）

コース区分	期間 (月)	年度	コース数	募集定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	前年度から の訓練生③	修了者 ④	就職者 ⑤	就職中退 ⑥	就職率 (⑤/④+⑥)
知識習得 コース	3～6	R6	136	2,377	1,652	69.5%	393	1,766	1,423	141	74.6%
		R7	146	2,494	1,597	64.0%	370	1,652	1,354	143	75.4%
		R8	51	808	599	74.1%	405	369	144	23	36.7%
企業実習付き コース	4～6	R6	8	128	100	78.1%	0	67	83	26	89.2%
		R7	6	86	73	84.9%	0	45	59	20	90.8%
		R8	6	97	68	70.1%	0	-	-	-	-
長期人材育成 コース	18～24	R6	15	111	71	64.0%	69	65	56	2	83.6%
		R7	13	88	50	56.8%	63	61	51	1	82.3%
		R8	11	91	53	58.2%	45	-	-	-	-
合 計		R6	159	2,616	1,823	69.7%	462	1,898	1,562	169	75.6%
		内デジタル	40	727	531	73.0%	180	540	471	82	75.7%
		R7	165	2,668	1,720	64.5%	433	1,758	1,464	164	76.2%
		内デジタル	46	839	543	64.7%	171	551	470	76	75.0%
		R8	68	996	720	72.3%	450	369	144	23	36.7%
		内デジタル	19	322	245	76.1%	154	105	45	10	39.1%

(2) 障害者を対象とした訓練

【令和8年度予算 81,104千円】

民間教育機関、特例子会社等を活用し、障害者の特性に応じた多様な委託訓練を5つの区分により実施。

- ア 知識・技能習得訓練コース**：就職に必要な知識、技能習得を目指した訓練（PC基礎、HP作成等）
イ 実践能力習得訓練コース：事業所の現場を活用した実践訓練（飲食店、宿泊施設等）
ウ e－ラーニングコース：通所が困難な重度障害者等を対象に、IT技能等習得を目指した訓練（PC基礎、Web作成等）
エ 特別支援学校早期委託訓練コース：10月時点で内定していない特別支援学校高等部の生徒を対象とした訓練
オ 知的障害者特別委託訓練コース：阪神友愛食品(株)を委託先に、知的障害者の職場適応力や就労に必要な体力の養成を目指した訓練（食品流通、販促物封入等）

【実施状況】

令和8年7月末現在（単位：人）

コース区分	期間 (月)	年度	コース数	募集定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	複数受講者 ③	修了者 ④	就職者 ⑤	就職中退 ⑥	就職率 (⑤/④+⑥-③)
知識・技能習得訓練	2～3	R6	11	46	36	78.3%	1	31	12	1	38.7%
		R7	11	44	36	81.8%	1	33	16	1	48.5%
		R8	2	9	4	44.4%	0	2	-	-	-
実践能力習得訓練	2～3	R6	1	4	2	50.0%	0	2	0	0	0.0%
		R7	4	11	7	63.6%	0	7	2	0	28.6%
		R8	2	6	6	100.0%	0	4	-	-	-
e－ラーニング	3	R6	6	20	10	50.0%	1	9	2	0	25.0%
		R7	3	11	10	90.9%	1	9	5	1	55.6%
		R8	1	4	2	50.0%	0	2	-	-	-
特別支援学校早期委託訓練	3	R6	2	2	2	100.0%	0	1	1	0	100.0%
		R7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		R8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害者特別委託訓練	12	R6	1	15	14	93.3%	0	14	14	0	100.0%
		R7	1	15	11	73.3%	0	11	11	0	100.0%
		R8	1	15	15	100.0%	0	-	-	-	-
合 計		R6	21	87	64	73.6%	2	57	29	1	51.8%
		R7	19	81	64	79.0%	2	60	34	2	56.7%
		R8	6	34	27	79.4%	0	8	-	-	-

II 在職者に対する能力開発

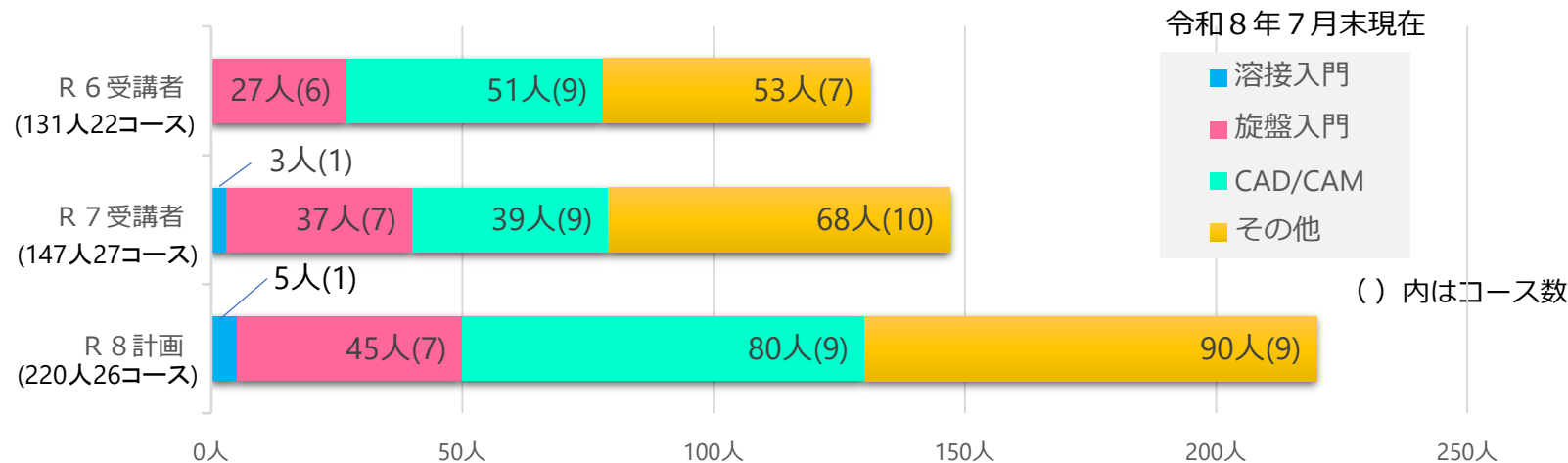
企業在職者を対象に、業務に必要な知識やより高度な技能の習得、資格取得などを目標とした短期講座・企業のニーズに応じたオーダーメイド型在職者訓練を実施。

1 公共職業能力開発施設で行う企業在職者等の技能向上

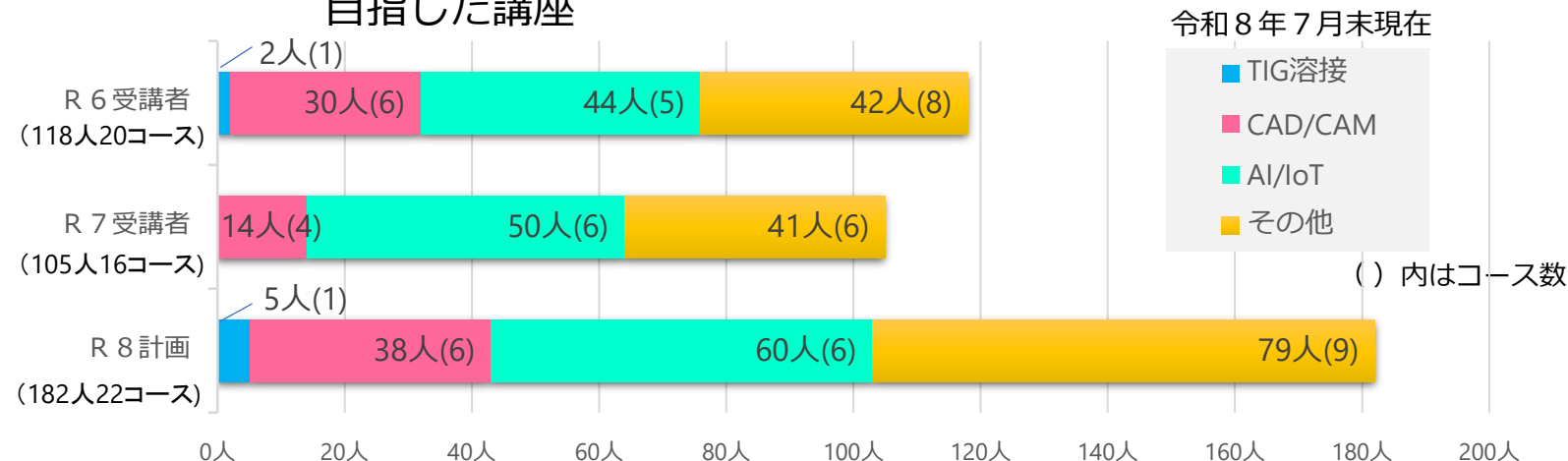
【令和8年度予算 11,112千円】

(1) 通常コース 年間計画により定期的に実施する講座

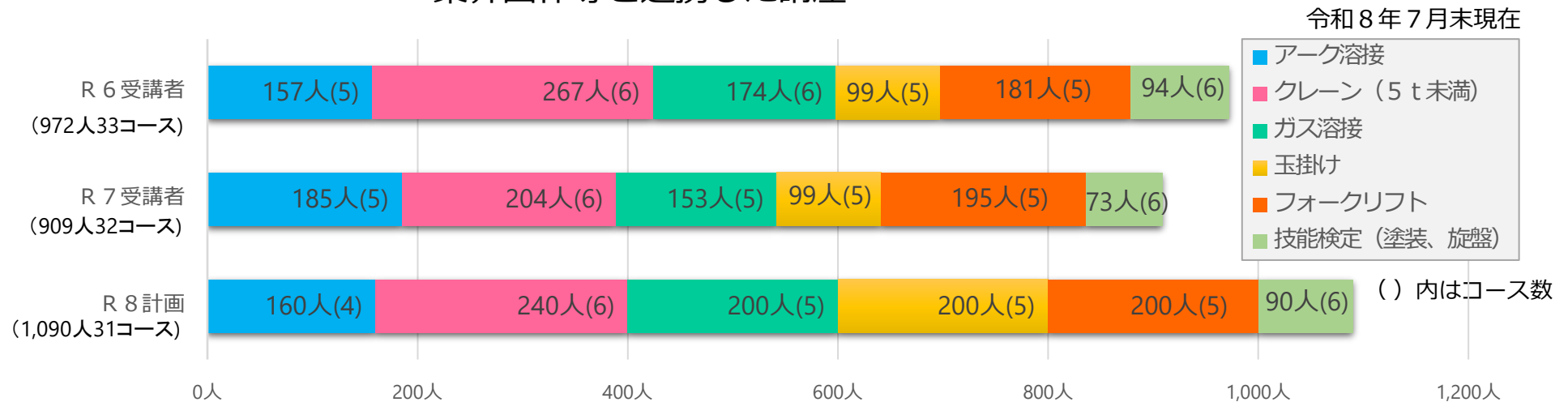
ア 基礎講座 : 入社1～2年目までの新入社員を対象とした基礎技能の習得講座



イ 応用講座 : 中堅・若手技能者を対象とした生産現場での実践的な事例と実演、熟練技能の継承を目指した講座



ウ 資格試験対策講座 : 中小企業のニーズが高い、資格がなければ業務に従事できない分野について 業界団体等と連携した講座



【基礎講座：汎用旋盤入門】



【応用講座：5軸マシニングセンタII】



【資格試験対策講座：クレーン(5t未満)】

(2) オーダーメイド型コース 企業のニーズに応じたオーダーメイド型の講座

令和6年度実績：機械加工の基礎講座を開講（5コース、23人受講）

令和7年度実績：機械加工の基礎講座を開講（3コース、18人受講）

令和8年度計画：企業ニーズに応じた講座を開講予定（3コース、19人）

(3) 障害者対象コース 在職障害者のスキルアップを目指す講座

令和6年度実績：コミュニケーションスキルの向上にむけた講座を開講（1社、12人受講）

令和7年度実績：コミュニケーションスキルの向上にむけた講座を開講（2社、26人受講）

令和8年度計画：企業ニーズに応じた講座を開講予定（2社、30人）

2 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援

【令和8年度予算 21,954千円】

民間事業主団体等が労働者に対して行う職業能力開発を支援。

(1) 認定職業訓練に対する支援

- ・事業所や職業訓練法人で行う職業訓練コースを県が認定。
- ・中小企業等の行うコースは補助金の対象となるほか、要件を満たした修了者には技能士補の称号を付与。
- ・認定された職業訓練のうち、中小企業や職業訓練法人等の行う訓練に対して補助を行い訓練の質的水準を確保。

【認定・支援状況】

(単位：団体・人)

項目	認定状況				支援（補助）状況			
	R7年度		R8年度(計画数)		R7年度		R8年度(計画数)	
	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数
大企業	7	266	7	396	—	—	—	—
中小企業	12	677	11	770	3	363	2	317
経営者団体等	10	302	10	382	5	134	5	181
職業訓練法人	4	1,303	4	2,595	2	759	3	984
その他	5	83	5	110	3	39	3	62
計	38	2,631	37	4,253	13	1,295	13	1,544

(2) 職業訓練指導員の養成・確保

- ・職業能力開発促進法に基づき、指導員講習を修了した者や職業訓練指導員試験に合格した者等に対して職業訓練指導員の免許証を交付し、企業での事業内訓練指導員等の養成・確保を図る。

【交付状況】

令和8年7月末現在 (単位：件)

区分	R7	R8
免許交付数	127	27

III 技能の振興と職業観の醸成

- ・ 熟練技能の維持継承が課題とされる中、技能者に対する評価の確立や技能継承の促進、若年労働者に対する職業能力開発を進めるなど、技能尊重気運を醸成。
- ・ 次代を担う青少年のものづくりへの関心や職業意識を醸成するため、ものづくり体験事業を実施。

1 技能の向上

【令和8年度予算53,508千円】

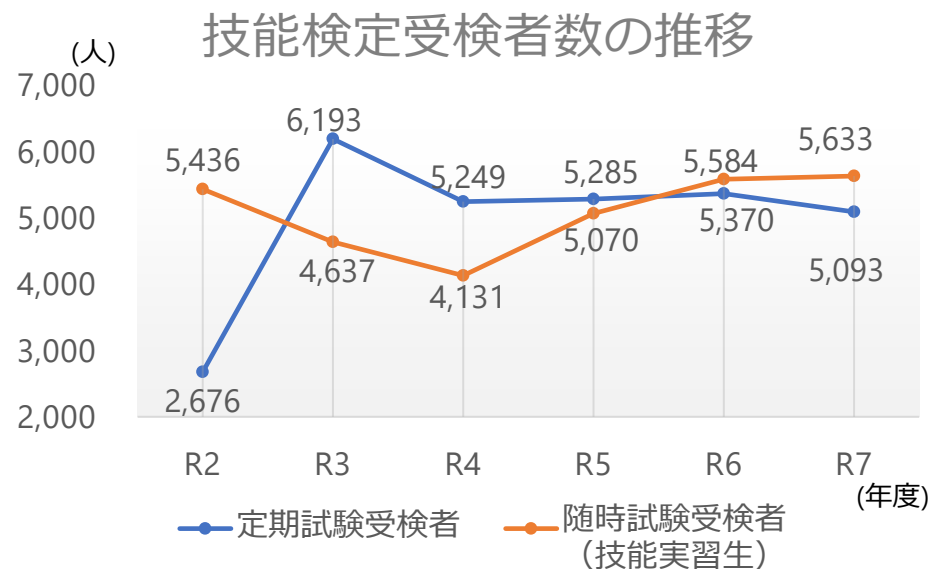
(1) 技能検定の普及促進

ア 技能検定の実施

- ・ 技能に対する社会一般の評価を高め、労働者の技能と地位の向上を図るため、兵庫県職業能力開発協会と連携して技能検定を実施。
- ・ 合格者に国家資格「技能士」の称号を付与。



技能検定実技試験（築炉）



- ・ 令和2年度の定期試験受検者は、コロナ禍の影響により、前期試験を中止したことにより減少したが、コロナ後はほぼ横ばいで推移。
- ・ 技能実習生については、コロナ禍の影響により令和4年度まで減少していたが、令和5年度以降年々増加。

【技能検定実施状況】

令和8年7月末現在

		特級	1級	2級	3級	単一	小計	技能実習生対象(随時実施)				合計
								2級	3級	基礎	小計	
R6 年度	受検者(人)	285	1,793	2,211	1,043	38	5,370	594	2,072	2,918	5,584	10,954
	合格者(人)	107	869	1,141	664	19	2,800	12	503	2,789	3,304	6,104
	合格率(%)	37.5	48.5	51.6	63.7	50.0	52.1	2.0	24.3	95.6	59.2	55.7
R7 年度	受検者(人)	229	1,661	2,133	981	89	5,093	219	2,871	2,543	5,633	10,726
	合格者(人)	70	819	1,142	673	43	2,747	4	515	2,418	2,937	5,684
	合格率(%)	30.6	49.3	53.5	68.6	48.3	53.9	1.8	17.9	95.1	52.1	53.0

イ 若者の技能検定受検の促進

- ・「ものづくり分野」において若年者の入職促進を図るため、23歳未満の若者が技能検定の3級を受検する場合に実技試験受検手数料の一部を減免。(最大9,000円)

【3級実技試験受検手数料】

(単位：円)

区分		一般	23歳未満		在校生	23歳未満	
			雇用保険 被保険者	それ以外		雇用保険 被保険者	それ以外
実技試験	機械加工、建築大工等(105職種)	18,200	9,200	13,700	12,100	3,100	7,600
	機械検査、婦人子供服(2職種)	15,100	6,100	10,600	10,100	2,900	5,600
	和裁、電気製図等(4職種)	13,300	4,300	8,800	8,900	2,900	4,400
学科試験	一律	3,100					

(2) 技能者の顕彰

【令和8年度予算 635千円】

広く社会一般に技能尊重の気運を高め、労働者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能者を表彰。



県が実施する表彰（兵庫県知事賞）

兵庫県技能顕功賞

- ・極めて優れた技能を有し、兵庫県の産業発展に功績のあった技能者を表彰

[主な要件]

35歳以上かつ経験年数15年以上

[表彰人員] 概ね160人

[表彰開始] 昭和41年～

年度	R6	R7	累計
推薦者数(人)	139	129	
受賞者数(人)	133	123	10,134

兵庫県青年優秀技能者表彰

- ・優れた技能をもって顕著な功績を収め、将来を嘱望される青年技能者を表彰

[主な要件]

35歳未満かつ経験年数7年以上

[表彰人員] 概ね30人

[表彰開始] 平成8年～

年度	R6	R7	累計
推薦者数(人)	83	69	
受賞者数(人)	34	30	1,037

国が実施する表彰（厚生労働大臣賞）

卓越した技能者の表彰

- ・卓越した技能を有する現役の技能者を「現代の名工」として表彰

[主な要件]

全国を通じて第一人者と目される技能者

[表彰人員] 全国で概ね150人

[表彰開始] 昭和42年～

年度	R6	R7	累計
推薦者数(人)	21	26	
受賞者数(人)	5	7	416

(3) 「ひょうごの匠」の認定

【令和8年度予算 23千円】

技能に対する県民の関心を高め、技能の伝承及び後継者の育成を図るため、県内の優れた技能者の中で、技能伝承及び後継者育成に熱意を持つ者を「ひょうごの匠」として認定。

【「ひょうごの匠」認定者数】

令和8年7月末現在 (単位：人)

職種	人	職種	人	職種	人	職種	人
貴金属装身具製作	13	石工	13	印章彫刻	8	建築大工	10
広告美術仕上げ	11	写真	15	寝具	19	建具	10
表具	20	菓子製造	12	婦人子供服製造	18	紳士服製造	7
内装仕上げ施工	13	塗装	18	日本調理	36	左官	13
畳製作	13	ガラス施工	11	造園	12	金属塗装	14
建築板金	14	フラワー装飾	13	時計組立・修理	2	西洋調理	22
瓦葺き	12	和裁	16	26職種 365人 ※うちR8年度認定 14人			

(4) ものづくり技能競技大会への支援

【令和8年度予算 210千円】

ア 技能競技大会参加への支援

技能者の技能・知識及び社会的地位の向上に資するため、技能競技の全国大会（全国技能グランプリ、技能五輪全国大会、全国障害者技能競技大会）に参加する選手を支援。

【支援内容】

- ◆県ユニフォームの贈呈
- ◆激励会の開催
- ◆技能士団体への選手育成強化費支援
- ◆大会と県出場選手の広報



技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会激励会

【兵庫県参加者の状況】

(単位：人)

大会名	対象者	R6	R7	R8
全国技能グランプリ (隔年開催)	・熟練技能者(1級技能士)が対象 ・和裁、日本料理、旋盤、 フラワー装飾など30職種で競う	—	参加者 28 入賞者 11 (銀賞2) 開催地：大阪府 ほか	—
技能五輪全国大会	・青年技能者(23歳以下)が対象 ・和裁、日本料理、電工、 構造物鉄工など41職種で競う	参加者：21 入賞者：13 (金賞3) 開催地：愛知県	参加者：19 入賞者：15 (金賞2) 開催地：愛知県	R8.12開催予定 開催地：愛知県
全国障害者技能 競技大会 (アビリンピック)	・障害者が対象 ・表計算、喫茶サービスなど25職種で競う	参加者：6 入賞者：2 (銅賞2) 開催地：愛知県	参加者：7 入賞者：4 (銀賞3) 開催地：愛知県	R8.12開催予定 開催地：愛知県

イ 「ものづくり兵庫」技能競技大会の開催（兵庫県職業能力開発協会と共催）

県内の業態や規模の異なる企業の若者技能者をはじめ、教育訓練機関や公共職業能力開発施設で学ぶ訓練生が、互いに切磋琢磨し技能向上に取り組む機会として実施。

【実施内容】

- ・開催日：令和8年11月13日（金）
- ・場所：ものづくり大学校
- ・競技職種：旋盤、溶接、金属塗装、建築大工
- ・対象者：実務経験3年未満の若年技能者（概ね35歳まで）
- ・募集人数：62人



「ものづくり兵庫」技能競技大会（建築大工）

2 ものづくり体験を通じた若者等への職業観の醸成

(1) ものづくり体験事業

【令和8年度予算 43,890千円】

本県産業の礎となるものづくりへの関心を高め、技能者の後継育成につなげるため、小中学生および高校生に対し、本格的なものづくり体験の機会と場を提供。

ア ものづくり体験学習（中学生・高校生対象）

年度	R6年度	R7年度	R8年度(予定)
参加校	72校 (中学校68校、高校4校)	71校 (中学校65校、高校6校)	70校 (中学・高校)
参加人数	7,219人 (中学生7,162人、高校生57人)	7,163人 (中学生7,101人、高校生62人)	7,000人 (中学・高校生7,000人)

【ものづくり体験例】

中学生：フラワーデザイン、横断幕、和裁巾着、ミニ畳、チリトリ製作など

高校生：金属塗装、金属コースター、調理、ミニ屏風制作など

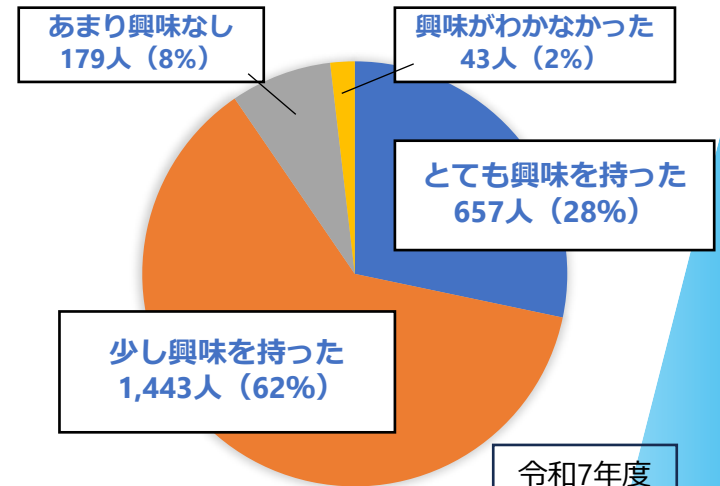


Tシャツプリント



ペン立て

ものづくり体験学習 実施後アンケート



令和7年度

有効回答総数 2,322

イ ものづくり体験講座（主に小学生対象、夏・冬休み期間等を実施）

年度	R6年度	R7年度	R8年度(予定)
講座数	82回 (体験館47回、神戸25回、 但馬10回)	80回 (体験館50回、神戸20回、 但馬10回)	80回 (体験館50回、神戸20回、 但馬10回)
参加人数	665人 (体験館370人、神戸213人、 但馬82人)	795人 (体験館580人、神戸145人、 但馬70人)	800人 (体験館585人、神戸145人、 但馬70人)

【講座例】

ワイヤーアート表札、光センサーロボット、木製ペン立て付メモ入れ、ミニ畳、革の三角折り財布など

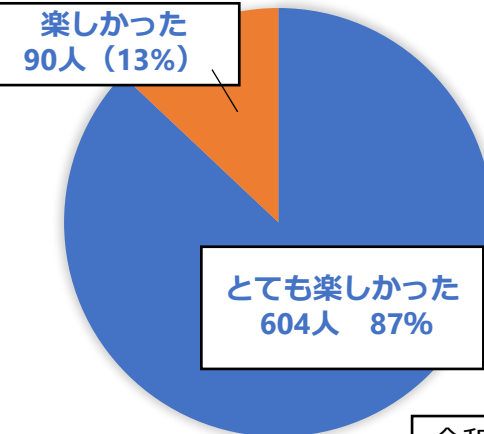


まが玉作り



六角カラーペン立て

ものづくり体験講座 実施後アンケート



回答総数 694

令和7年度

(2) 未来のものづくり人材育成事業【新規】

【令和8年度予算 11,860千円】

工業高校生等を対象に、体験講座や地域イベント等の機会を通じて、「ものづくり」への興味づけを行い、次世代のものづくり人材となり得る子どもたちの職業選択を後押し。

ア 県内工業高校生等への熟練技能者による本格指導

県内の工業高校生等がひょうごの匠や企業OB等、一流の技術・技能をもった熟練技能者から直接指導を受けることにより、「ものづくり」への理解を深めるとともに、その魅力を再認識してもらい、「ものづくり」への道に進むことを後押し。

イ 県内工業高校生等による子ども（小学生等）たちへの指導体験

熟練技能者等からの事前指導を受けた高校生が地域イベントに出展し、熟練技能者等のサポートのもと、来場した小学生等にもものづくりの指導体験を実施。

年度	R8年度(予定)	
実施回数	ア 本格指導	イ 指導体験
	22回	4回 (神戸地域1回、播磨地域2回、但馬地域1回)

【講座例】

シルバーペンダント、オリジナルネーム入りコースターなど



ア 本格指導



イ 指導体験

(3) 技能フェスタ

【令和8年度予算 3,000千円】

ものづくり体験を通じて若者等への職業観の醸成を図るため、親子を対象に多彩なものづくり体験イベント「技能フェスタ」を兵庫県、神戸市、兵庫県技能士会連合会及び神戸市技能職団体連合会で構成する実行委員会により開催。

【実施内容】

- ・開催時期：令和8年10月31日（土）～11月1日（日）
- ・場 所：神戸国際展示場 3号館
- ・内 容：技能体験(全32ブース)、製作実演、作品展示、即売等
- ・参加団体：和裁、洋菓子、表具、貴金属、畳、左官、洋裁、日本調理等 47団体・施設
- ・入場者数：約7,000人（令和7年度実績）



壁塗り体験（左官）



ブリザーブフラワーの製作体験（フラワー）



篆刻体験（印章）

IV 多様な就労の促進

1 外国人の雇用・就職・定着の促進

(1) ひょうごグローバル人材活躍企業認定事業の推進【令和8年度予算 22,313千円】

地域社会で暮らす外国人が増えるなか、すべての人が安心して暮らし活躍できる多文化共生社会の実現に向けて、外国人が安心して就職し定着できるよう、働く環境が整った企業を認定する「ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度」（R7.11～）を運用

○制度概要

対象企業： 兵庫県内に本社がある中小企業

申請方法： 企業が自社の取組をチェックリストに記入し提出

チェックリスト項目： 全18項目（法令遵守、募集・採用、労働環境、生活環境、
キャリア支援・福利厚生、インゲージメントの向上の6分類）

制度メニュー： 認定制度と宣言制度の二本立て



ひょうごグローバル人材活躍認定企業
Hyogo Certified Global Talent-Friendly Company

(R8.7月末時点)
認定企業数 32社
宣言企業数 22社

	認定制度（認定企業）	宣言制度（宣言企業）
認定/登録要件	18項目中15項目以上を「実施」	18項目中15項目以上の「これからの実施を宣言」
認定/登録の流れ	書類提出 ▶ 書類審査 ▶ 認定審査会 ▶ 認定	書類提出 ▶ 書類審査 ▶ 登録
認定/登録期間	3年間（更新あり）	3年間（更新なし）
メリット （支援内容）	・ 県ホームページで企業名・取組内容を公表 ・ 認定書の交付、ロゴマーク使用 ・ 国内外の合同企業説明会への優先出展 ・ フォローアップセミナー参加 ・ 海外人材送り出し機関への紹介 ・ 兵庫県信用保証協会保証料率割引 ・ 日本政策金融公庫特別利率適用	・ 県ホームページで企業名を公表 ・ サポートセミナー参加 ・ 認定取得に向けた専門家無料相談 ・ 兵庫県信用保証協会保証料率割引 ・ 日本政策金融公庫特別利率適用

(2) 外国人留学生等を対象とした人材確保の推進【令和8年度予算 28,631千円】

留学後も日本に在留し就業を希望する外国人留学生（高度外国人材等）を対象に、合同企業説明会を開催し県内就職を促進。海外現地で学び日本への就職を希望する外国人大学生等を対象としたキャリアフェアを開催することにより海外人材を獲得。



留学生向け合同企業説明会

ア 留学生向け合同企業説明会の開催

就職活動中の外国人留学生を対象とした合同企業説明会を神戸市と共同開催。

- ・開催日： 令和8年6月17日（水）
- ・場所： 神戸サンボーホール

開催実績	R6年度	R7年度	R8年度
参加企業数	76社	76社	77社
参加者数	710人	1,706人	1,149人

イ 首都圏開催合同企業説明会への出展

首都圏で開催される外国人留学生等を対象とした合同企業説明会の会場内に、県内企業を集めた「HYOGOストリート」を設置。

- ・開催日： 令和9年3月3日（月）
- ・場所： 東京都立産業貿易センター
浜松町館（東京都港区）

開催実績	R6年度	R7年度	R8年度
参加企業数	未実施	11社	(調整中)
延べ参加者数		1,221人	—

ウ 外国人採用キャリアフェアへの出展

ベトナム・ホーチミン市工科大学で開催されるキャリアフェアの会場内に、県内企業を集めた「HYOGOストリート」を設置。

- ・開催日： 令和8年10月3日（土）
- ・場所： ホーチミン市工科大学内（ベトナム）

開催実績	R6年度※	R7年度	R8年度
参加企業数	(11社)	15社	15社(予定)
延べ参加者数	(85人)	2,884人	—

※R6年度はプレイベントの実績

(3) 外国人雇用HYOGOサポートデスクの運営 【令和8年度予算 13,488千円】

外国人材の受け入れを希望する企業に対して、円滑な外国人雇用を支援するため、外国人雇用に関する制度理解を進め、相談等を行うサポートデスクを運営。

【実施方法】 (一財) 兵庫県雇用開発協会へ委託

ア 相談窓口の運営

- ・対象： 外国人を雇用している、または雇用を希望する県内企業
- ・実施方法： 対面、電話、メールによる相談
- ・相談内容： 在留資格、外国人雇用制度
業務内容・人事労務管理上の留意点の相談・助言
- ・相談体制： 雇用相談員（2名）
専門アドバイザー（予約制：行政書士、社会保険労務士）
- ・設置場所： ひょうご・しごと情報広場内（神戸クリスタルタワー12階）
- ・相談日時： 週5日（月～金）、10時～18時
- ・実績：

相談実績	R6年度	R7年度	R8年度
相談件数	200件	516件	97件 * R8.7月末時点

イ 外国人雇用セミナーの開催

- ・対象： 外国人雇用に関心のある企業、外国人を雇用している企業
- ・実施回数： 年2回程度
- ・実施内容： 外国人雇用制度説明、雇用先進事例紹介等
- ・実績：

開催実績	R6年度	R7年度	R8年度
開催回数	2回	2回	2回(予定)
参加者数	70人	138人	—

2 障害者の雇用・就業・定着の促進

(1) ひょうごジョブコーチ推進事業

【令和8年度予算 35,593千円】

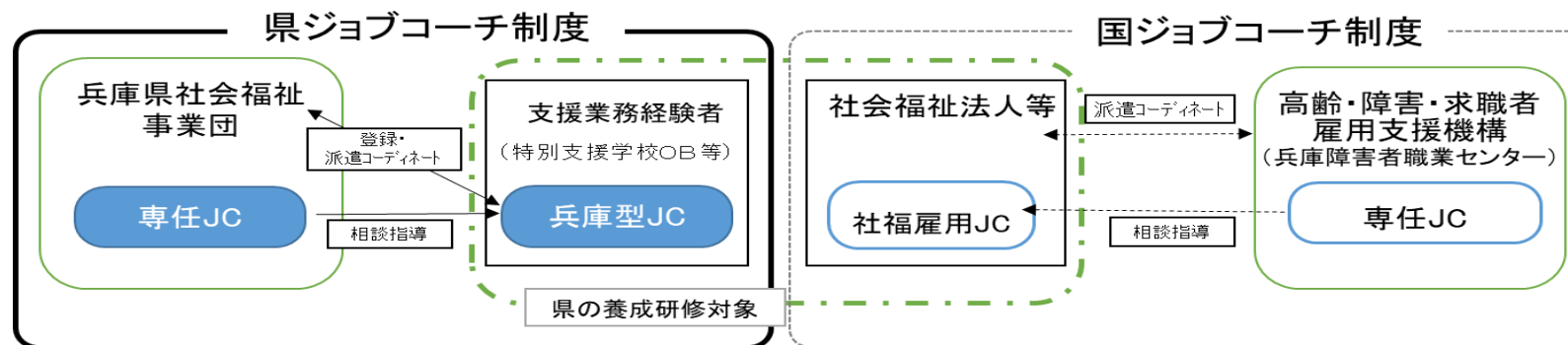
障害者の就労・職場定着支援の充実を図るため、県独自制度のジョブコーチが障害者の職場を訪問し、個々の特性を踏まえた専門的な伴走型支援を実施。

【実施方法】 (社福) 兵庫県社会福祉事業団に委託

【実施内容】

ア 養成 国の定める養成研修を実施し、兵庫型ジョブコーチ等を養成

イ 派遣 兵庫型ジョブコーチ(JC)または専任ジョブコーチ(JC)が企業に出向き障害者及び企業双方に対する支援を実施



※県ジョブコーチ制度は、短時間勤務を対象とするなど、国の制度よりも柔軟に運用

【実績】 (令和8年7月末現在)

<養成研修実績>

年度	開催	養成者数
R6	8月・1月(2回開催)	37人
R7	8月・1月(2回開催)	57人
R8	10月(1回開催) 予定	—

<県ジョブコーチ支援実績>

年度	専任ジョブコーチ	兵庫型ジョブコーチ
R6	189回	934回
R7	245回	846回
R8	94回	287回

(2) 特例子会社・事業協同組合設立等助成金事業【令和8年度予算 14,878千円】

中堅・中小企業による特例子会社・事業協同組合の設立や、特例子会社・事業協同組合による障害者新規雇用に要する施設整備費等の経費を助成。

【実施方法】（一財）兵庫県雇用開発協会で実施

【助成金メニュー及び実績】（令和8年7月末現在）※県内特例子会社45社、事業協同組合1団体

		特例子会社 設立助成	事業協同組合 設立助成	雇用拡大助成 (障害者の新規雇用)
対象		中堅・中小企業	中小企業	特例子会社・事業協同組合
助成率		1/2	2/3	1/2
上限額		5,000千円	5,000千円	1人目／1,000千円(重度2,000千円) 2人目～／100千円(重度500千円)
実績	R6	1件 (助成額393千円)	0件	2件 (新規雇用者数6人、助成額3,256千円)
	R7	0件	0件	1件 (新規雇用者数3人、助成額239千円)
	R8	1件(予定)	0件(予定)	3件(予定)

(3) ひょうご障害者ワークフォーラムの開催

就労を希望する障害者やその支援者、障害者の雇用を考える企業を対象としフォーラムを開催。企業ブースや関係機関の相談コーナーを設置するほか、オンラインを活用した情報提供も実施。

【実績】

年度	開催場所	参加人数	参加企業数
R6	神戸国際展示場	605人	25社
R7	神戸国際展示場	540人	25社
R8	神戸国際展示場	—	25社(予定)

(4) 障害者雇用就業・定着拡大推進事業

【令和8年度予算 55,499千円】

県内10か所の障害者就業・生活支援センターに推進員を配置し、実習・就職先の開拓や就職相談等を実施するほか、特に支援が必要とされる精神・発達障害者等に対し就労や職場での定着を支援。

【実施内容】

- ア 基本的な労働習慣の習得に向けた個別支援
- イ 職務適性判断、職場実習調整
- ウ 精神、発達障害者の就労定着に向けた個別支援
- エ 就職先となる企業等の開拓
- オ 障害者、雇用者双方に対する継続的な相談対応 等

【障害者就業・生活支援センター一覧】

地域	実施機関	地域	実施機関
神戸 阪神南 阪神北 東播磨 北播磨	(社福)神戸聖隷福祉事業団(神戸市) (社福)三田谷治療教育院(芦屋市) (社福)いたみ杉の子(伊丹市) (社福)加古川はぐるま福祉会(加古川市) (社福)兵庫県社会福祉事業団(三木市)	中播磨 西播磨 但馬 丹波 淡路	(社福)姫路市社会福祉事業団(姫路市) (社福)兵庫県社会福祉事業団(赤穂市) (特非)ぷろじえくとPlus(豊岡市) (社福)わかたけ福祉会(丹波篠山市) (社福)兵庫県社会福祉事業団(洲本市)

※各センターに推進員2名を配置

【実績】

(令和8年6月末現在)

年度	登録者数	相談件数	就職者数
R6	7,277人	10,999件	482人
R7	7,175人	11,999件	393人
R8	7,192人	2,879件	178人

※四半期毎に報告あり

(参考) 第12次兵庫県職業能力開発計画の策定

1 策定スケジュール (～R8.9 : 今回(12次)実績、R8.10 : 前回(11次)実績並)

日程	R7.12	R8.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スケジュール	● 審議会設置[12/1]		● 第1回審議会[2/10]			● 第2回審議会[5/29]			● パブコメ[8月3日～24日]	● 第3回審議会[9/10]	○ 答申[10月下旬]

2 県審議会の開催状況

第1回審議会

【日時】 令和8年2月10日(水) 10:00～12:00

【内容】 ・「第12次兵庫県職業能力開発計画」策定に向けた視点
 ・職業能力開発を取り巻く環境
 ・本県の職業能力開発にかかる主な取組
 ・「第11次兵庫県職業能力開発計画」にかかる主な取組と今後の課題

【開催結果】

第12次計画策定にあたっての施策の基本的方向は、第11次計画策定時の〈5本柱〉を基本的に維持し、変化が加速している部分に注力した見直しを行う。

施策の基本的方向〈5本柱〉

- 1 人口減少社会を支える求人・求職者ニーズへの対応
- 2 長期化する職業人生におけるキャリア形成の支援
- 3 全員活躍社会の実現に向けた多様な働き方の推進
- 4 技能者の社会的地位の向上や技能継承への支援など技能振興の推進
- 5 公共職業能力開発施設（訓練校）における取組の充実

第2回審議会

【日時】 令和8年5月29日(金) 10:00～12:00

【内容】 ・第12次兵庫県職業能力開発計画（案）
 ・第1回審議会 議論の反映
 ・国の第12次職業能力開発基本計画(R8.3策定)の県計画への反映

【開催結果】

施策の方向性、取組内容について基本的に原案どおり了承、経営者への啓発や情報発信に関する新たな提案を得た。

パブリックコメント

【意見募集期間】 令和8年8月3日(月)～8月24日(月)

【意見等提出件数】 5件（2人）

第3回審議会

【日時】 令和8年9月10日(木)10:00～12:00

【内容】 ・第12次兵庫県職業能力開発計画(案)
 ・パブリックコメントの結果の反映
 ・第2回審議会 議論の反映

【開催結果】

パブリックコメントの意見を反映した修正案どおり了承された。



兵庫県